



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月6日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社
 コード番号 2270 URL <http://www.meg-snow.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東札

(氏名) 西尾 啓治
 (氏名) 佐瀬 修

TEL 03-3226-2124

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	143,494	5.5	3,731	41.4	3,686	27.2	2,471	139.7
27年3月期第1四半期	136,047	0.9	2,639	△17.5	2,897	△10.5	1,030	△33.6

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,669百万円 (102.6%) 27年3月期第1四半期 1,317百万円 (△37.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	36.43	—
27年3月期第1四半期	15.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	351,760	122,839	34.3	1,776.64
27年3月期	345,597	122,209	34.7	1,767.71

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 120,531百万円 27年3月期 119,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	285,000	3.0	5,000	△2.3	4,500	△19.5	2,500	8.8	36.85
通期	560,000	1.9	9,500	1.3	9,500	△9.0	6,000	52.6	88.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	70,751,855 株	27年3月期	70,751,855 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,909,811 株	27年3月期	2,908,870 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	67,842,461 株	27年3月期1Q	67,847,234 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が継続いたしました。

個人消費は持ち直しの兆しがみられ、食品業界においても、昨年来の円安による原材料価格の高騰に伴い、消費税増税後も値上げが相次ぐなど物価が上昇する中でも、消費支出は堅調に推移しています。

このような経営環境下、当期においては、「雪印メグミルクグループ中期経営計画（平成26年度～平成28年度）」に基づき、需要の拡大と競争力の強化に取り組み、チーズやヨーグルトなどの主力商品の拡売、生産性の向上によるローコストオペレーションの実現、原材料価格上昇を踏まえたコストアップへの適切な対応による収益向上に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は143,494百万円（前年同期比105.5%）、営業利益は3,731百万円（前年同期比141.4%）、経常利益は3,686百万円（前年同期比127.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,471百万円（前年同期比239.7%）となりました。

セグメントごとの当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高および営業利益につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品事業

当事業には、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は53,790百万円（前年同期比109.3%）、営業利益は2,346百万円（前年同期比125.0%）となりました。

売上高は、プロセスチーズが好調に推移したこと、バターの販売価格を見直したこと、油脂にバター代替需要があったことなどから、当事業全体では増収となりました。

営業利益は、前年からの円安を含めた原材料価格上昇の影響があったものの、販売価格の見直しなどの収益改善策により増益となりました。

② 飲料・デザート類事業

当事業には、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。

売上高は68,010百万円（前年同期比103.0%）、営業利益は295百万円（前年同期は営業損失54百万円）となりました。

売上高は、飲料は販売物量が減少しましたが、ヨーグルトは恵ブランドの強化へ重点的に取り組んだこと、デザートはリニューアル品が牽引したことなどから、当事業全体では増収となりました。

営業利益は、原材料価格上昇の影響があったものの、ヨーグルトの売上が伸長したことや販売価格の見直しなどの収益改善策が寄与し、大幅な増益となり黒字化しました。

③ 飼料・種苗事業

当事業には、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売が含まれております。

売上高は12,776百万円（前年同期比101.3%）、営業利益は644百万円（前年同期比106.1%）となりました。

当期は、前年同期の消費税増税に伴う売上減少から回復したことや、販売価格の見直しの効果により増収増益となりました。

④ その他事業

当事業には、不動産賃貸、共同配送センター事業等が含まれております。売上高は8,917百万円（前年同期比109.0%）、営業利益は413百万円（前年同期比286.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して6,163百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加したことなどによります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して5,533百万円の増加となりました。

これは主に、長期借入金が減少した一方で、支払手形及び買掛金や短期借入金が増加したことなどによります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して629百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、10,359百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,496百万円の収入（前年同期は45百万円の支出）となりました。前年同期との比較では、主に税金等調整前四半期純利益の増加、仕入債務の増減額の増加や法人税等の支払額の減少などにより、4,541百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,341百万円の支出（前年同期は7,035百万円の支出）となりました。前年同期との比較では、主に有形及び無形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより、2,693百万円の支出減となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,038百万円の収入（前年同期は5,723百万円の収入）となりました。前年同期との比較では、主に長期借入金の返済による支出が減少した一方で、短期借入金の純増減額が減少したことなどにより、4,685百万円の収入減となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日の決算短信で公表した業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社では、建物以外の減価償却方法について、従来、主として定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から、定額法に変更しております。

当社は、平成27年3月期において新規基幹工場である阿見工場および海老名工場が全面的に稼働開始し、それに伴う工場の統廃合によって、生産体制の最適化を達成しております。これを契機として、生産設備の稼働状況を確認したところ、今後、生産設備は、耐用年数にわたり安定的に稼働することが見込まれていることから、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法として定額法を採用することが、合理的な費用配分を可能にすると判断したことにより、減価償却方法の変更を行ったものであります。

これにより、従来の方法と比べて、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が380百万円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が380百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,818	11,004
受取手形及び売掛金	64,926	69,534
商品及び製品	33,479	34,658
仕掛品	758	1,001
原材料及び貯蔵品	14,712	13,360
繰延税金資産	3,505	3,527
その他	5,683	5,683
貸倒引当金	△529	△541
流動資産合計	132,354	138,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,474	46,808
機械装置及び運搬具(純額)	58,498	58,283
土地	58,382	58,283
その他(純額)	10,155	10,419
有形固定資産合計	173,510	173,795
無形固定資産	6,503	6,376
投資その他の資産		
投資有価証券	24,782	24,757
繰延税金資産	4,158	3,983
その他	6,025	6,349
貸倒引当金	△1,737	△1,731
投資その他の資産合計	33,228	33,359
固定資産合計	213,242	213,530
資産合計	345,597	351,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,145	60,005
短期借入金	39,947	45,102
未払法人税等	768	1,315
賞与引当金	3,390	2,736
その他	27,068	26,210
流動負債合計	128,320	135,369
固定負債		
長期借入金	68,780	66,698
繰延税金負債	967	969
再評価に係る繰延税金負債	6,207	6,207
役員退職慰労引当金	311	232
ギフト券引換引当金	227	224
退職給付に係る負債	8,490	8,435
資産除去債務	425	394
その他	9,657	10,389
固定負債合計	95,067	93,551
負債合計	223,388	228,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,580	17,580
利益剰余金	69,194	69,630
自己株式	△4,541	△4,542
株主資本合計	102,233	102,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,590	4,817
繰延ヘッジ損益	△79	△75
土地再評価差額金	12,904	12,904
為替換算調整勘定	567	450
退職給付に係る調整累計額	△290	△234
その他の包括利益累計額合計	17,693	17,862
非支配株主持分	2,282	2,308
純資産合計	122,209	122,839
負債純資産合計	345,597	351,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	136,047	143,494
売上原価	104,610	109,423
売上総利益	31,436	34,071
販売費及び一般管理費	28,797	30,339
営業利益	2,639	3,731
営業外収益		
受取利息	13	23
受取配当金	186	136
持分法による投資利益	-	15
為替差益	465	-
その他	220	229
営業外収益合計	886	404
営業外費用		
支払利息	229	232
持分法による投資損失	73	-
その他	325	216
営業外費用合計	627	449
経常利益	2,897	3,686
特別利益		
固定資産売却益	24	44
投資有価証券売却益	-	216
その他	4	13
特別利益合計	29	274
特別損失		
固定資産売却損	0	13
固定資産除却損	184	202
減損損失	49	18
工場再編損失	432	-
その他	97	32
特別損失合計	764	267
税金等調整前四半期純利益	2,162	3,693
法人税等	1,138	1,195
四半期純利益	1,024	2,497
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,030	2,471

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	1,024	2,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	206	229
繰延ヘッジ損益	△56	3
為替換算調整勘定	27	△117
退職給付に係る調整額	116	56
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△1
その他の包括利益合計	293	171
四半期包括利益	1,317	2,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,321	2,640
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	28

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,162	3,693
減価償却費	3,491	3,399
減損損失	49	18
持分法による投資損益(△は益)	73	△15
貸倒引当金の増減額(△は減少)	88	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,445	△654
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	138	△54
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△4	△3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△56	△78
固定資産除売却損益(△は益)	160	172
受取利息及び受取配当金	△200	△160
支払利息	229	232
売上債権の増減額(△は増加)	△4,090	△4,607
たな卸資産の増減額(△は増加)	574	△70
仕入債務の増減額(△は減少)	1,763	2,457
その他	△252	756
小計	2,682	5,090
利息及び配当金の受取額	293	246
利息の支払額	△242	△230
法人税等の支払額	△2,778	△609
営業活動によるキャッシュ・フロー	△45	4,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19	△19
定期預金の払戻による収入	99	-
貸付けによる支出	△117	△133
貸付金の回収による収入	55	133
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,890	△5,070
有形及び無形固定資産の売却による収入	890	298
投資有価証券の取得による支出	△5	△130
投資有価証券の売却による収入	-	594
その他	△47	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,035	△4,341
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	11,007	5,572
長期借入金の返済による支出	△3,193	△2,499
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△1,827	△1,884
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△260	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,723	1,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,351	1,170
現金及び現金同等物の期首残高	10,570	9,188
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,224	10,359

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,227	66,023	12,613	127,865	8,182	136,047	—	136,047
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,522	6	251	3,781	3,066	6,848	△6,848	—
計	52,750	66,030	12,865	131,646	11,248	142,895	△6,848	136,047
セグメント利益 又は損失 (△)	1,877	△54	607	2,430	144	2,575	64	2,639

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び共同配送センター事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額 64百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,790	68,010	12,776	134,577	8,917	143,494	—	143,494
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,499	9	252	3,761	2,961	6,723	△6,723	—
計	57,290	68,020	13,029	138,339	11,878	150,218	△6,723	143,494
セグメント利益	2,346	295	644	3,286	413	3,699	31	3,731

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び共同配送センター事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 31百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

4. 補足情報

(1) 前期比較

① 連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成27年 3月期		増減		平成27年 3月期		増減
	平成28年 第1四半期	平成28年 3月期			平成28年 第1四半期	平成28年 3月期	
(流動資産)	1,323	1,382	58	(流動負債)	1,283	1,353	70
現金及び預金	98	110	11	仕入債務	571	600	28
売上債権	649	695	46	短期借入金	399	451	51
たな卸資産	489	490	0	その他	312	302	△9
繰延税金資産	35	35	0	(固定負債)	950	935	△15
その他	51	51	△0	長期借入金	687	666	△20
(固定資産)	2,132	2,135	2	退職給付に係る負債	84	84	△0
有形固定資産	1,735	1,737	2	その他	177	184	6
無形固定資産	65	63	△1	負債 合計	2,233	2,289	55
投資有価証券	247	247	△0	株主資本等	1,199	1,205	6
繰延税金資産	41	39	△1	非支配株主持分	22	23	0
その他	42	46	3	純資産 合計	1,222	1,228	6
資産 合計	3,455	3,517	61	負債・純資産 合計	3,455	3,517	61

② 連結損益計算書

(単位：億円)

	平成27年3月期 第1四半期		平成28年3月期 第1四半期		増減金額	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	前期比
	売 上 高	1,360	100.0%	1,434	100.0%	74
売 上 原 価	1,046	76.9%	1,094	76.3%	48	104.6%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	287	21.2%	303	21.1%	15	105.4%
営 業 利 益	26	1.9%	37	2.6%	10	141.4%
営 業 外 収 益	8	0.7%	4	0.3%	△4	45.7%
営 業 外 費 用	6	0.5%	4	0.3%	△1	71.6%
経 常 利 益	28	2.1%	36	2.6%	7	127.2%
特 別 利 益	0	0.0%	2	0.2%	2	931.7%
特 別 損 失	7	0.6%	2	0.2%	△4	35.0%
税金等調整前四半期純利益	21	1.6%	36	2.6%	15	170.8%
法 人 税 等	11	0.8%	11	0.8%	0	105.0%
非支配株主に帰属する損益	△0	△0.0%	0	0.0%	0	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10	0.8%	24	1.7%	14	239.7%

③ 連結包括利益計算書

(単位：億円)

	平成27年3月期 第1四半期		平成28年3月期 第1四半期		増減金額	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比
四半期純利益	10	24	14	243.8%		
その他の包括利益合計	2	1	△1	58.5%		
四半期包括利益	13	26	13	202.6%		
(内、非支配株主に係る 四半期包括利益)	△0	0	0	—		

④ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	増減金額
	実績	実績	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△0	44	45
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△70	△43	26
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	57	10	△46
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0	△0
V 現金及び現金同等物の増減額	△13	11	25
VI 現金及び現金同等物の期首残高	105	91	△13
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—	△0
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	92	103	11
(参考) フリー・キャッシュフロー(I+II)	△70	1	72

⑤ 連結セグメント別実績

(単位：億円)

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	増減	
	実績	実績	金額	前期比
[売上高]				
乳 製 品	492	537	45	109.3%
飲 料 ・ デ ザ ー ト 類	660	680	19	103.0%
飼 料 ・ 種 苗	126	127	1	101.3%
そ の 他	81	89	7	109.0%
[営業利益]				
乳 製 品	18	23	4	125.0%
飲 料 ・ デ ザ ー ト 類	△0	2	3	—
飼 料 ・ 種 苗	6	6	0	106.1%
そ の 他	1	4	2	286.8%

(注) 1. セグメント別の主な取扱商品類

乳製品：乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等） 他
 飲料・デザート類：飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート 他
 飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他
 その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他

2. セグメント別の売上高は外部顧客に対する金額を記載しております。

なお、前期比についても外部顧客に対する金額の比較によります。

(2) 業績予想

① 連結業績予想

(単位：億円)

	平成28年3月期			
	第2四半期連結累計期間		通期	
	予想	前期比	予想	前期比
売 上 高	2,850	103.0%	5,600	101.9%
営 業 利 益	50	97.7%	95	101.3%
経 常 利 益	45	80.5%	95	91.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	25	108.8%	60	152.6%

(注)平成27年5月14日決算短信発表時に公表したのから変更はありません。

② セグメント別売上予想

(単位：億円)

	平成28年3月期			
	第2四半期連結累計期間		通期	
	予想	前期比	予想	前期比
乳 製 品	1,050	103.9%	2,170	101.8%
飲 料 ・ デ ザ ー ト 類	1,370	102.4%	2,600	101.8%
飼 料 ・ 種 苗	255	102.6%	490	103.2%
そ の 他	175	102.2%	340	100.7%

(注) 1. セグメント別の売上高は外部顧客に対する金額を記載しております。

なお、前期比についても外部顧客に対する金額の比較によります。

2. 平成27年5月14日決算短信発表時に公表したのから変更はありません。

(3) 単体部門別売上高

(単位：億円・%)

	平成27年3月期 第1四半期		平成28年3月期 第1四半期		増減金額
	実績	前期比	実績	前期比	
乳食品	302	100.1	304	100.8	2
(内 バター)	51	103.0	56	110.2	5
(内 チーズ)	168	104.2	172	102.4	4
油脂	33	94.7	37	111.1	3
市乳	515	96.8	529	102.6	13
(内 白物飲料)	206	99.9	216	105.1	10
(内 色物飲料)	125	91.8	113	90.2	△ 12
(内 はっ酵乳)	122	100.5	134	110.2	12
その他	5	106.3	5	93.8	△ 0
合計	857	97.9	876	102.2	18

(参考)平成28年3月期第1四半期シェア(家庭用)

バター	35.4%
チーズ	16.2%
油脂	34.2%
牛乳	7.4%
乳飲料	19.4%
はっ酵乳	11.6%

(当社調べ：乳食品・油脂：物量ベース、市乳：金額ベース)